

アメリカ留学で体験したこと

情報文化学科 2年 野崎美希

私が留学中に最も思い出になったことは、Thanksgiving 中のホームステイです。ホームステイでは、ESL クラスの先生である Mrs. Hardee のお宅へ五日間滞在させていただきました。ホームステイ中はとても親切にいただき、様々なところに連れて行ってもらいました。そのなかでも印象に残っているのは Thanksgiving Day とボンファイヤーについてです。Thanksgiving Day にはハーディさんの娘さんのお宅に親戚などが集まって七面鳥やハム、クランベリージュース、かぼちゃやラズベリーを使ったパイなどの伝統的な料理が並び、それらの料理を食べながら交流を楽しむことができました。並べられた料理はどれもおいしかったです。また、ハーディさんの家の方々は皆優しく親切な人達でした。そのため、ホームステイ中はとてもリラックスすることができ、家族や親戚の方々とたくさんお話を楽しく過ごせました。そしてまた別の日に私はボンファイヤーを体験したのですが、この経験は私にとってとても思い出に残るものとなりました。ボンファイヤーは木の枝を集めて燃やし、焚火のようにして行われました。そこでソーセージを焼いてパンと合わせてホットドッグを作ったり、マシュマロを焼いてチョコレートとビスケットで挟むことでスモアというお菓子を作ったりして食べました。枝を燃やすのに時間がかかった分それらはおいしく感じられました。他にも買い物に出かけたり家でカードゲームをしたりもしました。トランプなどの遊びかたはアメリカと日本で異なっていたため、ゲームのルールを教えあうことでお互いに別の遊びかたを学ぶことができる良い機会となりました。私はこのとき、アメリカで遊ばれているトランプゲームを覚えてそのゲームで遊んだり、反対に日本で遊ばれているトランプゲームを相手に教えて遊んだりすることができてとても楽しかったです。ホームステイ中の5日間は毎日貴重な体験をさせていただいたり、様々な場所に連れて行ってもらったりしてとても充実した日々を過ごすことができました。そのため、5日間のホームステイによってたくさんの貴重な体験ができたと思います。ホームステイ中に親切にいただいたハーディさんと家族、親戚の方々にはとても感謝しています。またアメリカを訪れる機会があったら、是非もう一度ハーディさん一家やアメリカでできた友人達に会いたいと思っています。